

介護・認知症 悩みにも助言

中央社保協など全国で電話相談



親身になって相談に答えるケアマネジャーら
11日、東京都豊島区

「介護・認知症なんでも無料電話相談」が

11日、実施されました。全国30都道府県42カ所の会場で専門家が

電話を受け、本人や家族からの悩みや困りごとに応えました。中央社保協推進協議会と「認知症の人と家族の会」の共催。

東京都豊島区の会場では、ケアマネジャーや同会の電話相談員ら20人が「老老介護」の苦勞や入所する施設の苦情などを親身になっ

て聞き、丁寧にアドバイスしていました。

同会東京都支部代表の大野敦子さんが受けた電話は、夫(80)の「過食」が心配だという妻(79)から「どうしたらいいか」という相談でした。夫がコロナ感染した際、医師から認知症の疑いがあると言われたものの、そのままだといま

ず。大野さんは「過食は

認知症にみられる症状」と考え、「まずは医療機関で診断を確定す

ること」と助言。夫は外に出たがらず医療や介護も避けていて、妻は病院に行くべきだとわかっていてもためらっているようでした。大野さんは「この電話相談が迷っている二人の背中を押してあげられたのならいいですね」と話しました。